

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 5 月 26 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024 年 5 月 24 日
明治大学卒業予定年月	2025 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校(日本語名) College of Staten Island, City University of New York(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月下旬～5 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	9290 人
創立年	1976 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	日本円	備考
授業料	\$0	0 円	交換留学のため
宿舍費	\$16,460	250 万円	
食費	\$5,000	80 万円	
図書費	\$0	0 円	
学用品費	\$100	1 万 5 千円	教科書代
携帯・インターネット費	\$165	2 万 5 千円	
現地交通費	\$0	0 円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$2,000	30 万円	
被服費	\$300	4 万 5 千円	
医療費	\$0	0 円	
保険費	\$880	12 万 5 千円	形態：明治大学指定の保険
渡航旅費	\$4,500	70 万円	
ビザ申請費	\$300	5 万円	
雑費	\$2,000	30 万円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$31,705	486 万円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:JFK 経由地:ホノルル

復路 出発地:JFK 目的地:羽田 経由地:

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:ハワイアン航空 料金:30 万円

復路 航空会社:ANA 料金:40 万円 ∴合計:70 万円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)☒ インターネット(サイト名:)☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前:Dolphin Cove) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

協定校からメールでの紹介

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮費のわりに日用品はすべて自分で揃えなければならないこと、ミールプランに強制加入であること、決められた期間の前後に寮に泊まる場合 1 日当たり\$100 請求されること、他の学生による騒音・悪臭などを考慮すると、自分で家を借りるか、ホームステイをした方がよいと感じた。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館からのメールをチェックするようにしていたが、幸い危ない目にあうことはなかった。不審な人物がいたら、なるべく距離を取るように心がけた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に不自由はなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを使った。友人と割り勘をした際に paypal で受け取ったお金を引き出すために銀行口座を開けた。開設時はパスポート・寮に住んでいることの証明書・大学に通っていることの証明書が必要であったがすぐに開設できた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

体調不良時に備えた薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 1 学期で合計 18 単位	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ANT100 Understanding Our Worlds	人類学
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回
担当教授	Joy Mampilly
授業内容	人類の進化
試験・課題等	毎週教科書 1 章ずつの要約を提出、中間と期末の対面テスト、期末レポート、期末レポートと同じ内容を簡単にプレゼンテーション
感想を自由記入	人類の進化について学ぶことができ興味深い授業であった。課題や試験も難易度は低めである。教授はインド出身のため、なまりが強いが、話すスピードがゆっくりなので十分に理解できる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
BUS105 Sustainable Business & Society		持続可能なビジネスと社会
科目設置学部・研究科	Business	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 1 回、115 分が 1 回	
担当教授	William Dubovsky	
授業内容	持続可能な未来を実現するためにビジネスが果たす役割	
試験・課題等	動画を視聴して設問に答える中間課題が 4 つ、対面でのテストが 7 回	
感想を自由記入	授業中は教科書に書いていないことや、関連した動画を視聴するため深く学ぶことができる。教授は留学生に対して気にかけてくれている印象があり、質問した際も優しく対応していただいた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
COM101 Media Literacy		メディアとリテラシー
科目設置学部・研究科	Communication	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Austin Lee	
授業内容	様々な形態のメディアを分析・評価の仕方、ソーシャルメディアの作り方	
試験・課題等	期末レポート	
感想を自由記入	とても早口なうえ、よく話が脱線するが、生徒の質問に対して丁寧に詳しく答えてくれる。身近な話を授業につなげるため、退屈な時間がなかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
INT100 International Studies		国際政治学
科目設置学部・研究科	International	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Stephen Ferst	
授業内容	国際情勢が与える影響とその意味	
試験・課題等	中間レポートが 3 回、対面での期末テストが 1 回	
感想を自由記入	中東の内容など、日本では深く学ばなかったことを取り扱っていたため、難しかったが、よい機会だった。レポートの添削をお願いした時は、親身にアドバイスをしていた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
BUS211 Communication in Corporate Setting		企業におけるコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Business	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 200 分が 1 回	
担当教授	Anna Romano	
授業内容	効果的なスピーチやプレゼンテーションの作り方	
試験・課題等	個人でのプレゼンが 2 回、グループが 1 回、中間テスト、期末テスト	
感想を自由記入	プレゼンテーションについてだけでなく、ビジネスにおけるメールの書き方についても学ぶことができ実用的なスキルが身についた。1 回の授業で多くの資料を提供してくれる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
CHN112 Beginning Mandarin Chinese I		初級中国語
科目設置学部・研究科	Chinese	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Tinny Lai	
授業内容	初級レベルの中国語	
試験・課題等	単語テストが数回、中間課題が 4 回、最終回の授業でプレゼンテーション	
感想を自由記入	生徒の人数が 15 人と少なかったため、教授が一人ひとりに丁寧に指導していた。毎回の授業でペアワークがあるため、中国語が上達しやすいと感じた。試験や課題もとても易しい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
MGT110 Organizational Theory & Management		組織理論と経営
科目設置学部・研究科	Management	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 1 回と 115 分が1回	
担当教授	William Dubovsky	
授業内容	基本的なマネジメントの機能や概念	
試験・課題等	中間テストが5回、期末テスト、授業の予習として毎週日曜までの課題が 18 回	
感想を自由記入	テストが毎回 50 問と少し分量があるが、難易度は高くなかった。マネジメントにおける必要なことを学ぶことができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
MKT111 Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	Marketing	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Jennifer Marrazzo	
授業内容	アメリカの流通システム、効果的なマーケティングの利用、現代のマーケティングの動向と発展	
試験・課題等	毎週ディスカッションボードに課題提出、2 週間ごとにオンラインの小テスト、2 回のケーススタディ、期末レポート	
感想を自由記入	授業の始めに Kahoot!で前回の授業の復習やその日の授業内容に関連したクイズを行うため、知識が定着しやすかった。テストや課題は易しい。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5 月下旬には留学が終了するため、対面で行われる最終面接には間に合いました。オンラインで行われる 1 次 2 次面接もニューヨークから参加していることを伝えると受けがよかったです。留学での経験によって志望業界が確定したため、留学による就活へのデメリットよりもメリットの方が大きかったです。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	語学試験
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	学内選考
留学開始年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	ビザ申請・取得、予防接種、航空券購入
	8 月 ~ 9 月	留学開始
	10 月 ~ 12 月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	中間試験、
	4 月 ~ 7 月	期末試験、帰国
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

専攻であるマーケティングの概念がアメリカで生まれたこと、ビジネスの中心地であること、様々な人種がいること、の理由から、ニューヨークを選びました。また、日本人が少なめなことも良かったと思います。実際に、様々な国の人々と関わることができ、「留学に行くと視野が広がる」ということを実感しました。価値観や考えも大きく変わりました。なれない環境での生活のため、ストレスは多いですが、長期での留学を経験して、英語力だけでなく人間として成長できたと感じます。

3 年生の夏出発だったため、就活と重なり、オンラインでの説明会参加や面接などは、時差の影響で夜遅い時間になってしまいましたが、なんとかなりました。留学でのエピソードを話し、他の学生との差別化をはかれるので、その面においても留学に行ったら良かったと思いました。もし就活を理由に留学をためらっているのなら、絶対に留学に行くことをおすすめします。